

大分大学医学部の理念，教育目的及び目標

理 念

本学部は最新の学術を教授・研究し，高度の医学及び看護学の知識と技術並びにそれらの本義を見失わない道徳観と，それを支える豊かな教養を身につけた医療人及び研究者を育成し，もって医学及び看護学の進歩，国民健康の維持増進，さらに医療・保健を中心に地域及び国際社会の福祉に貢献する。

また，「患者本位の最良の医療」を基本理念とし，高度先進医療の開発と提供及び倫理観豊かな医療人の育成により地域社会の医療・福祉の向上に貢献する。

目 的

医 学 科

患者の立場を理解した全人的医療ができるよう，豊かな教養と人間性，高度の学識，生涯学習能力，国際的視野を備えた人材を育成することを目的として実践的な医学教育を行う。

看護学科

人々が心身共に健康な生活を営めるよう，適切な看護を行うことができる専門的知識と技術の修得を促し，看護学の発展と保健・医療・福祉の向上，ひいては国際社会への貢献ができるよう，豊かな人間性を備えた人材を育成する。

目 標

医 学 科

1. 幅広い教養と高い倫理観，責任感を備え，感性豊かな人材。
2. 問題発見・解決型の教育を行い，疾病予防や診断，治療方法の改善，原因や病態の解明向上に貢献でき，最新の医学知識や技術を習得するための生涯学習能力を備えた人材。
3. 個人の生命や健康，権利，尊厳を守り，コミュニケーション能力と協調性並びに指導力を備え，全人的医療やチーム医療の実践ができる人材。
4. 医療や保健・福祉の問題を理解し，広い視野から地域社会のみならず国際的にも活躍，貢献できる人材。

看護学科

1. 様々な人間存在のあり方を理解し，多様な価値観を有する人々に深く共感することができる人材。
2. 生命の尊厳，個人の権利を尊重し，高い倫理観を持って行動できる人材。
3. 看護に関する専門的知識と技術を修得することによって，個人とその家族，または集団の健康問題に適切に，かつ，柔軟に対応できる人材。
4. 保健・医療・福祉及び教育・研究の場において，看護学を基盤とした看護の役割と責務を自覚し，各々の専門性を尊重し，協働することができる人材。
5. 看護専門職として，将来，国際的にも学際的にも活躍し，社会に貢献することができる人材。